照葉樹林文化研究会2013 in 東京

「照葉樹林文化の要素としての癒し植物の文化多様性をめぐる研究」(サントリー文化財団助成)、日本雑草学会学術部会「雑草の福祉活用研究会」および科研費「東アジア原産観賞植物の栽培化と野生化に関する保全生物学的研究」による研究会を開催します。ふるってご参加ください。

日時：2013年5月25日(土) 13時~17時

場所：東京農業大学 世田谷キャンパス 1号館1階 111室
東京都世田谷区桜丘 1-1-1

講演会

1. 特別講演 13:00-14:00

- 魯元学 (中国植物科学院 昆明植物研究所)
雲南省少数民族の祭祀植物の多様性

2. 講演発表 14:00-14:40

- 大野朋子 (大阪府立大学)
タイの少数民族における祭祀植物としてのタケ類 とくに笹について

3. 研究フラッシュ 15:00-16:40、各題15分 (照葉樹林文化研究会会員ほか)

- 山口裕文 (東京農業大学) 生活文化としてのアジア綿アルボレウム種について
- 竹井恵美子 (大阪学院大学) 台湾原住民の復興村落 (リナリ集落) にみる植物
- 児島恭子 (札幌学院大学)
日本の照葉樹林帯の巨樹にまつわる精神文化—歴史的にみた巨木の“癒し”
- 山口 聡 (林間園芸研究センター) 木の葉の博物誌、その1. 見かけの常緑性について
- 山根京子 (岐阜大学) 日本で栽培化された植物の野生集団への遺伝的攪乱事例とその対策
- 中田政司 (富山県立中央植物園) 栽培および野生化シュウカイドウの染色体数と花粉稔性

<参加申込み> 参加無料、事前申込み不要

<連絡・問い合わせ先>

東京農業大学 バイオセラピー学科教授 山口裕文 h4yamagu@nodai.ac.jp